

広告特集 企画・制作 朝日新聞社メディアビジネス局

Disney モアナと伝説の海



タラおばあちゃんの知恵袋コンテスト



いよいよ明日10日(金)から公開となるディズニー映画最新作「モアナと伝説の海」。公開を記念して、朝日新聞紙上で「タラおばあちゃんの知恵袋コンテスト」を実施しました。冒険の旅に出る少女モアナの背中を押したタラおばあちゃんが語ったような、次世代へ伝えたい知恵を募集したもので、タラおばあちゃんを演じた夏木マリさんを審査委員長に、優秀作に選ばれた10作品を紹介します。



© 2017 Disney. All Rights Reserved.



タラおばあちゃん賞

第1位

「眠っている間に笑顔美人に」中井 和子 さん(71歳・女性)

笑顔ってすてき。誰でも輝いて見えます。すてきな笑顔のためには、夜、眠りにつく前に、何か楽しいことを考えましょう! **眠っている間、ずっとその表情が続いているので、笑顔美人になれます。**泣きながら、怒りながら眠ることは厳禁!



©HIRO KIMURA

夏木さんコメント

笑顔で周りもハッピー

笑顔で自分で作れるってとってもハッピーなことですよ? やっぱり誰かが笑っていたり笑顔を見せてくれると周りもハッピーにしてくれる。だからこれ一番大切なことだと思います。眠っている間にずっと表情が続いているというのが、とっても響きました。



「外出時には古新聞をバッグに」

梅本 恵子 さん(73歳・女性)

外出する時、古新聞の幾枚かをバッグの片隅にしぼせておくといいです。買ったものを包むのに、**にわか雨の傘代わりに、冷え込んだら背中に入ると暖まります。**どこかに腰掛ける時の敷物に、飲食する時、**膝の上に広げてナブキン代わりに。**使用後は簡単に処理できて便利。

夏木さんコメント

これは役立つ知恵袋

これはほんと。外出する時、新聞紙の何枚かをバッグの片隅にしぼせておくというのは、本当におばあちゃんが教えてくれそうな知恵袋です。生きていく時にとっても役立つことに改めて、そうだなあと気づかせてくれたので2位に選びました。



「唇に歌とほほえみを」

江藤 憲子 さん(80歳・女性)

「顎の柔らかい人は美しい」。母の口ぐせは、いつも**稲妻**のように響きました。つらい時も楽しいことを考え、唇に歌と、ほほえみを忘れないで。食べる。歌う。ほほえむ。生き抜くことは、上唇に、神経を、集中させることなのです。**顎の柔らかい人は美しい。**

夏木さんコメント

名言! 顎の柔らかい人は美しい

いま歌うこととか、顔を柔らかくしてほほえむということが最近みんな少なくなってきた、この方と同じように私も稲妻のようにあらためて響きました。「顎の柔らかい人は美しい」。名言だと思います。



「やけどにはジャガイモを」

香川 智美 さん(27歳・女性)

アイロンや熱い鍋でやけどした時、ヒリヒリして赤くなって痛いですが、やけどの後、アロエをめると良いとよく聞きますが、うちではジャガイモをすって汁ごとガーゼに取り、患部に当てます。うちの88歳になるおばあちゃんの知恵袋です!! ジャガイモで本当に良くなるの?と思いますが、熱が取れて、ミミズバシにもならず、とてもきれいに治ります。お試しください!



「いつも満月でも、闇夜でもない」

ペンネーム 林 はな さん(78歳・女性)

終戦直後の小学3年生の頃。疎開していた福井で祖母と暮らし風呂の帰り道。急に月が陰ったが、雲が去って再び明るくなった時、「人生は今と同じ。いつも満月でもないし、闇夜でもない」と言った祖母の言葉。いつも思いついては、心のよりどころにしています。



「ひとりぼっちではないよ」

ペンネーム あんじえら さん(37歳・女性)

ポラリス(北極星)は、方位を確認する時に、必ず北の位置に輝くので、目印の役割をしてくれます。夜空に輝くポラリスは、私たちをあたたく包み込むように輝くのです。「ひとりぼっちではないよ」と心まで、照らしてくれそうです。



「缶詰のオイルを非常時に活用」

新谷 トシ さん(90歳・女性)

オイルのツナ缶は手軽な缶詰として利用されますが、缶の中のオイルは非常時に、照明用のローソクに活用できます。オイル缶がある時は、いざという時、これで間に合うということですね。

作品紹介

多くの女性が共感できる、ディズニーの新たな傑作です!

海に選ばれた16歳の少女モアナは、愛する人々を救うため、命の女神テ・フイティの盗まれた「心」を取り戻す冒険に出る。神秘的な大海原で、立ち足はだか困難に悩み傷つきながらも自分の進むべき道を見つけていくモアナだったが……。



「犬のオシッコに困った時は」

本城 知子 さん(83歳・女性)

門柱や塀に犬のオシッコをかけられて困っている時、お米のとぎ汁をその場所にかけます。2度や3度ではだめですが、幾度もかけると犬が寄りつかなくなります。



「相手の目を見て話そうよ」

ペンネーム ちいちゃん さん(57歳・女性)

最近、スマホの画面を見ている人が多いのですが、一緒に食事をする時も、静かにSNSやゲームをしています。文字にすると相手の心が読めない時もあるから、目の前の人と目を見て話をする、表情やしぐさから相手の気持ちがわかるよ。見直してほしい、今の生活。



「シャックリにお砂糖を」

前田 あつ子 さん(87歳・女性)

子どもの頃、シャックリが止まらない時はきまって、砂糖をなめると自然に治っていました。深呼吸をしても、効果があると聞きます。砂糖をなめるといふ非日常的(昔は特に、砂糖は貴重品でした)な行為で、気分をやわらげ、そうす効果があったのでしょ。

*これらは一般の方から寄せられた知恵袋で、効果効能を保証するものではありません。